

久野豊彦 小説家、評論家。明治二十九年九月十日、百愛知縣生れ。昭和四十六年一月二十六日没（八六—九二）。大正十二年慶應義塾大學經濟學部卒。在學中宇屋謙一等と同人誌『葡萄園』創刊、のち『手帖』、『近代生活』同人。新興藝術派の代表的作家とほるも、その後文壇から離れる。

著譯書『聯想の暴風』（昭和五年四月七日新潮社）『新興藝術派叢書』、『新藝術とダダグレースイズム』（昭和五年五月）『二十日大人社』『新藝術論システム』、『ポール紙の皇帝萬歳』（昭和五年七月八日改清社）『新鋭文學叢書』、『新社會派文學』（淺原の朗共著、昭和七年七月九日厚生閣書店）、『最近の文學・文章研究と國語教育』（合著、千葉春雄編、昭和七年十月）『二十日厚生閣書店』、『艶々彙集』（昭和七年十月）『千五百第一書房』、『ルイス・トレンカー著』『雪山の生活者』（譯、昭和十年一月二十日、改裝版、十一年十一月）『千五百第一書房』、『ピトキン著』『青年の計畫』（譯、昭和十年八月五日、第一書房）、W・A・ホワイト著』『人は何故に失敗するの』（譯、昭和十一年十一月七日信成社）、『人生の注意がま』（昭和十一年一月二十日教材社）、『山岳征服冒險記』（昭和十一年八月六日大日本雄辯會講談社）『世界冒險探検叢書』、『大理解の本義』（昭和十三年七月）『二十日生活社』、『血・鐵・利潤—武器・情報・スパイ』（昭和十二年十月）『二十日生活書房』、『皇室藝術論』（合著、永野正入編、昭和十八年十月五日大日本藝術科學園）、トオランズ著『ロジヤンズヤの生活者』（譯、昭和十七年九月）『二十日生活書房』。



久野豊彦（譯）。